

神奈川県新しい公共支援事業 公開プレゼンテーション案件の概要

1 活動基盤強化プログラム事業

A : Vision・Mission作成応援プログラム

整理番号	応募団体名	合計 150点	事業概要	予算額(円)
1-A-1	株式会社ファンド レックス	109	NPO等にとって最大の経営資源は「夢」にある。何を指し、何を表現しようとしているのか、その実現のための具体的プロセスは何か。神奈川県のNPO等が、自団体の取り巻く外部環境、そして様々な関係者との関係も含む内部環境を分析し、ミッション・ビジョンの再構築を行ったうえで中間的な成長(発展)戦略を構築することを目的とする。 具体的には、前年度行った基本研修等を通じて行った、ミッション・ビジョンの再構築を行う意義、中期計画を構築する意義、作成のポイントについての基礎的理解を踏まえ、今年度は、実際に個別指導を通じて、実際の中期計画を作成する。また、中期計画の作成プロセスをパターン化・モデル化し、今後のNPO指導や意欲あるNPOの自助努力に資する報告書を作成する。	9,240,000
1-A-2	公益社団法人 日本 サードセクター経営 者協会	112	非営利組織の経営をいかに成り立たせていくかということは、個々の組織の状況や外部環境によって異なり、千差万別である。そのため、個別団体ごとに事業終了時点および3~5年後の成果目標を設定し、支援計画を立て、個別コンサルティングを実施する。 また、単に支援対象団体のアクションプランを作るだけではなく、具体的にどのように始めるのか、どのような工夫ができるのかという改善の“第一歩”が踏み出せるよう、具体的に指導していく。また3つのプログラムの成果を示し、他のNPO等へ汎用していくための成果報告会を開催する。	9,232,850

※Aについては、利害関係のある幹事1名が採点していないため150点満点となります。

B : 財務会計体質改善プログラム

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
1-B-1	株式会社日本能率協 会マネジメントセン ター	109	NPO法人の財務・会計活動を改善し、適切な運営と情報公開を行うため、以下の項目を実施する。 ・平成23年度に実施した研修を基盤とし、各法人で異なる適切な財務会計活動の運営ができるよう指導を行う。 ・NPO法人会計を理解し指導できる税理士・会計士等の専門家を支援対象NPO等ごとに個別派遣する。団体ごとの財務会計の活動状況、特性、担当スタッフの理解度等に沿って、具体的なアドバイスを行う。 ・事業終了時には、本事業の支援において抽出された財務会計のノウハウ等を県内NPO等への提言に含めた事業報告を行う。	8,085,000

C : 発信力強化プログラム

整理番号	応募団体名	合計 150点	事業概要	予算額(円)
1-C-1	株式会社ファンド レックス	107	神奈川県のNPO等が、自分たちの生み出している価値や潜在的な魅力を最大限発信するためのメッセージ力を高めること、及びその発信のメカニズムや関係者の意欲向上を通じて、共感が広がり、支援者が拡大することを目指す。具体的には、前年度実施した基本研修を通じた広報・ファンレイジングへの基本的理解を経て、団体の自発性を活かしながら改善内容や広報計画をまとめたアクションプランを作成し、2年間の間に実際の改善が実現することを目指す。 また、その一連のプロセスでの取り組みをいくつかのパターンでモデル化し、今後の県内NPO指導や意欲あるNPOの自助努力に資する報告書を作成する。	8,131,200

※Cについては、利害関係のある幹事1名が採点していないため150点満点となります。

2 多様な主体による交流促進事業

A：横浜・川崎及び横須賀三浦地域

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
2-A-1	特定非営利活動法人ETIC.	151	<p>企業・大学が多く経済活動が活発な横浜・川崎及び横須賀三浦地域において、インターンシップ制度を活用した「NPO等と企業の協働のきっかけ作りとプロジェクト推進」を目的とした事業を提案する。地域密着経営を行う企業等を中心にNPO等との協働意欲は高まっているが、十分な情報がないこと等により、協働が十分に行われているとは言い難い。</p> <p>NPO等との協働意欲の高い企業開拓に取り組むとともに、「NPO等とのコーディネート」の窓口専従スタッフとしてインターンの大学生が活躍する場を創ることを通じて、協働事例創出に取り組む。また、これらのプロセスを通じて顕在化した「協働の好事例」を広くWEBや紙媒体、イベント等で発信し、神奈川県内の多様な主体による協働の機運を盛り上げていく。</p>	3,235,000

B：県央及び県北地域

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
2-B-1	特定非営利活動法人ふれあい自然塾	117	<p>県央及び県北地域において、「子どもの健全育成を図る活動」を主として行っているか、必要性を感じているNPO、企業、大学、行政等に交流の場を提供して参加を呼びかける。</p> <p>参加した団体の「強み」を引き出し「協働の力」で、子どもの健全育成を図る上での問題解決に当たる。</p> <p>同時に、交流の場に参加した団体の活動が自立・定着することを促進し、新たな参加を促すことによってネットワークの深化を図る。</p>	2,560,000

C：足柄上及び西湘地域

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
2-C-1	特定非営利活動法人農家のこせがれネットワーク	135	<p>地域内で農業問題について個別に活動しているNPO等に対して、「情報収集と情報交換」「人材交流の場の提供」を柱として「地域の農業関係者のネットワークを構築し、運営を行う中間支援団体の組織化を実現」する事業を行う。</p> <p>農業問題については、雇用・生産・販売・流通などの仕組みづくりが最重要課題となっている。これらの解決には、量的なハードル(耕作地面積・収穫量・販売量など)をクリアする必要があり、広域的かつ多数の主体の参加が必要である。</p> <p>多数の主体が参加することで、例えば、新規就農者受入等の負担軽減ができ、大規模農業の展開による合理化や、大手流通業界との取引なども有利に進めることが可能になる。</p>	2,559,000

D：湘南地域

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
2-D-1	特定非営利活動法人農家のこせがれネットワーク	135	同上	2,559,000

3 寄附促進に向けたNPO認知度向上事業

A-①各種メディアを活用した広報活動

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
3-A①-1	横浜エフエム放送株式会社	135	FMヨコハマの放送を中心に次の二つの事業を融合して展開する。 1) NPOの活動紹介番組のラジオ放送 2) 「寄付の歌」楽曲募集とコンテスト 次の3点をその目的とする。 ①神奈川県内にNPOの認知度を上げること。 ②NPOへの協力は「寄付」と「参加」でなされるという理解を広げること。 ③恒久的な「寄付」意識の浸透と共に、寄付に対する誤解の取り払い。	21,800,000
3-A①-2	株式会社エースデザイン	136	市民に、NPOの意義(社会的課題を発信し、その解決方法を実践できること)を知っていただき、寄付やボランティアを通してその活動に参加・支持することで、市民自らが官・企業と協働して社会的課題を解決し、支えあう社会を作ることができることをPRする。 寄付の意義をダイレクトに市民に働きかけられるマスメディア広告、リーフレットのようにNPOと市民の接点で活用できるSPツール、また市民の自主的な参画を促す「かなチャリ」サイトとの連動型キャンペーン広告で「寄付文化」を根付かせていく。	21,800,000
3-A①-3	株式会社相鉄エージェンシー	138	「新しい公共」の拡大と定着を大前提に、本事業を『NPO等が「新しい公共」の担い手に相応しい団体であること』を浸透させるためのキャンペーンと位置づけ、昨年同様、「NPO等の信頼の象徴」となるべく当社が提案したシンボルマークを使用し、NPO等からのメッセージを効率よく伝えることができるメディア展開を行う。 また、NPO等の実際の活動を広く市民へ伝えていくキャンペーンサイトへの誘導も図り、県内及び近隣都県におけるNPO等への理解を深め、支援協力へと繋がることを狙う。	21,800,000

A-②双方向Webサイトの運営

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
3-A②-1	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボ	140	「寄付はわたしの社会貢献」。23年度に構築したメディア機能とSNS機能を持つキャンペーンWEBサイト「 http://kanachari.jp 」を軸に、ソーシャルメディアを活用して、より多くの県民にこのコンセプトを伝え、価値ある公益的な非営利活動＝「新しい公共」を担うNPOを、社会で支える機運を醸成する。 特に、時間はないが、地域の活性化・暮らしの充実に関心ある人々の一つの社会貢献の形としての「寄付」について、ソーシャルメディアを活用し、様々な活動や人を紹介することを通して関心を高める。	4,640,000

B-③寄付の仕組みの充実

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
3-B③-1	特定非営利活動法人ぐらすかわさき	113	当法人による「(仮称)かわさき市民ファンド」の設立や運営に関わる以下の試行事業を通じて、他の地域の市民ファンドの設立や運営に役立つ情報を収集し、提供する。 A. 寄付の情報公開・可視化の促進 B. ファンドレイジングの多様化 C. 中間支援機能の充実	3,000,000

B-④次世代に寄付への理解を広げる学習プログラムの開発・普及

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
3-B④-1	公益社団法人日本フィランソロピー協会	122	この事業は、小中学生を中心とした社会貢献活動を促進するサービスラーニングプログラムの普及を行う事業である。 サービスラーニング普及の具体的な方法として、米国で20年の実績を持つ学校単位の募金を核としたプログラム「ベニーハーベスト」を参考に開発したプログラムを教育現場に導入するための取組みを行う。	2,984,217

4 NPO提案型活動基盤強化事業

①NPOのための労働環境整備支援プロジェクト

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
4-①-1	特定非営利活動法人 まちづくり情報センターかながわ	127	NPOの「働く場」としての成熟をめざし、NPOにおいて有給で活動する人材に焦点を当てて雇用環境整備に資する取り組みを行う。 平成23年度に行ったアンケート調査の結果を元に、 ①NPO専門の人材募集サイトを運営し、県内NPOが共同で活用できる仕組みを提供 ②労働関連法・制度を中心にNPO運営者が参考にできる情報をまとめ、冊子や研修会として提供 ③NPO人材向け研修情報をまとめ随時提供 ④NPOを働く場としてよりよい環境にするための仕組みづくりや啓発活動を継続できるよう、本事業に関わる支援者間のネットワークを構築	2,933,354

②金融機関等からの融資利用の円滑化に向けたNPO等へのハンズオン型個別経営支援事業

整理番号	応募団体名	合計 200点	事業概要	予算額(円)
4-②-1	一般社団法人ソーシャルファイナンス支援センター	123	金融機関等からの融資利用の円滑化に向け、以下の事業を実施する。 1. NPO等向け「金融機関等からの借入れマニュアル」(試行版)をもとにしたNPO等向けセミナーの開催 2. NPO等へのハンズオン型の個別経営支援 3. 金融機関等へのNPO等に対する融資の啓発 4. NPO等向け「金融機関等からの借入れマニュアル」完成版の作成・配布	2,999,950